

入学者選抜選考基準設定の意図（Q & A）

Q1:第1次選考で、なぜ学力検査の「英語 1.2 倍」の重点化を行うのですか？

A1

- **グローバル進路の拡大:** 横須賀大津高校では、県立高校で唯一、マレーシアの 2 つの大学と協定を結び、計 6 名の指定校推薦枠を確保しています。英語や海外留学に関心がある生徒に入学していただき、それらの大学への進学も目指してもらいたいからです
- **確実な進路実現:** 本校では大多数の生徒が大学進学を希望するため、受験に必須となる英語を入学後 3 年間でさらに伸ばし、希望の進路を叶えてもらいたいからです。

Q2:英語の得点力が高くないと、合格はできないのでしょうか？

A2

- **合否への影響はごくわずか:** 重点化により英語の満点は100 点から120 点になりますが、公表している計算式にあてはめると実際の合否に及ぼす影響は小さいため、過度な不安は不要です。
- **第 2 次選考は重点化なし:** 万が一、第 1 次選考で影響が出たとしても、第 2 次選考では英語の重点化(1.2 倍)は行われませんので、安心して受検してください。

Q3:第2次選考で『学力検査』と『主体的に学習に取り組む態度』の割合を「6:4」

にしている理由は？

A3

- **求める生徒像のシフト:** 高校 3 年間で自己実現を果たすためには、5 教科以外の学習や学校生活に「コツコツ取り組む姿勢」も重要だと考えています。
- **「まじめに頑張る生徒」を評価:** 5 教科のテスト勉強だけでなく、実技 4 教科も含めた中学校での日頃の努力(主体的に学習に取り組む態度)の配点比率を高くしています。部活動や行事、地域活動などに積極的で、地道に努力できる生徒にぜひ合格してほしいからです。